



# 夢☆きらめに

No.  
6

加東市教育委員会／加東市人権・同和教育研究協議会 平成20年10月1日



'人権文化をすすめる市民運動'人権ポスター優秀作品 米田小学校3年 芝田有作さん

## 目 次

● 市同教	2・3	● 講演会	7
● 企人協	4	● 人権ポスター・標語	8・9
● 男女共同参画プラン	5	● 小学生の人権作文	10・11
● 人権尊重のまちづくり基本計画	6	● 人権トピックス	12

「新ちゃんの  
お笑い人権講座」から

差別せんでもええ生き方

落語家の露の新治さんの  
人権落語から印象に残った  
ことが一つ。

差別をしないで生きると  
自分が自由になるというお  
話です。差別せんでもええ  
生き方をするには自己変革  
が必要だということです。

娘の結婚相手が朝鮮人だ  
と紹介された時、以前の自  
分であれば、何かしら心の  
中で葛藤があつただろうが、  
今は差別をしないで生きる  
と決めたおかげで、素直に  
受け入れることができたと  
いうお話でした。

差別をしないで生きること  
との広がりを、自分の中で  
いろいろ考えてみた。  
すぐ連想したことは、ス

トレス(=病気)。

曰ごろいかにストレスを  
持つて生きているかといふ  
ことですよね。  
みなさんも一度考えてみ  
てはどうでしょう。

## 「生きがいと幸せを築き合う人間尊重のまちに」

### 加東市人権・同和教育研究協議会の活動

#### 基本方針

我が国では、1965年の「同和対策審議会答申」以来、同和対策事業特別措置法をはじめとする3つの特別法が制定され、それに基づいて同和問題の解決に向けた諸施策が推進されてきました。これらの取組により、生活環境が改善されるなど物的な面での同和地区内外の格差はほぼなくなり、部落差別解消に向けて大きな成果をあげてきたところです。

しかし、今なお、結婚差別や差別落書きなど、深刻な人権侵害の事象も後を絶たず、差別意識は根強く残っています。

また、「格差社会」が進行する中で、貧しい生活を余儀なくされ、生命・身体

の安全に関わるような人権侵害の問題が生じるなど、さまざまの人権問題への対応も求められるようになつてきました。とりわけ、子どもや高齢者など弱者への虐待や、インターネットなどによる悪質な人権侵害なども多発し、事態は深刻化しています。

このような社会情勢の中、加東市人権・同和教育研究協議会は、「生きがいと幸せを築き合う人間尊重のまちに」をスローガンに、同和問題はもちろんのこと、社会の変化に伴つて人々の暮らしに顕著に現れるさまざまな人権問題を明らかにしながら、組織・体制を整え、教育・啓発活動、人権尊重に基づく学校・園(所)づくり、まちづくりの取組を推進します。

#### 重点目標

##### 1 地域社会における人権・同和教育の充実・活性化

##### ○地区ごとに住民の主体的な学習を開催し、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題を解決するための実践活動を進める。

##### ○団体別研修を積極的に開催し、市民一人ひとりの

##### ○人権意識に基づいたさまざまな交流活動を推進す

#### 主な事業

##### ■ 総会 (5月16日)

- ・ 記念講演
- ・ 総会行事

手を携えて、子どもの発達段階や実態に応じた人権・同和教育の実践をめざす。

##### 〈公開授業(保育)〉

- ・ 講師 兵人教長  
陰山雅弘さん
- ・ 泉保育園
- ・ 兵教大附属中学校
- ・ 社小学校

##### ○高齢者人権学習

- ・ 消防団人権研修
- ・ ③団体別研修推進部会



#### ■ 各地区住民学習会

##### ①スローガン

『高めよう人権意識

##### ②内容

・ビデオ学習や講演会等の学習

##### ③助成金

- ・ふれあい活動
- ・「こころに咲く花」

#### 2 学校・園(所)における人権・同和教育の充実、活性化



##### ■ 理事会 (団体代表19名)

- ・年3回開催

#### ■ 本年度役員

- |      |      |
|------|------|
| 会長   | 堀井洋一 |
| 副会長  | 藤原 進 |
| 会計   | 丸山信子 |
| 監事   | 酒井隆昌 |
| 神戸泰三 |      |

- |      |      |
|------|------|
| 会長   | 堀井洋一 |
| 副会長  | 藤原 進 |
| 会計   | 丸山信子 |
| 監事   | 酒井隆昌 |
| 神戸泰三 |      |

- ①住民学習推進部会  
・住民学習説明会を地域ごとに実施 (5月)
- ②学校教育部会  
・〈研究テーマ〉

- ・基本助成
- ・特別助成
- ・創意工夫し意欲的な組みに対する助成  
(総額60万円)

## 関連事業

### 兵庫県人権教育研究大会 東播磨大会

8月3日、稻美町で開催。市同教から38名が参加。次の2つの分科会で学校・地域の取組を発表しました。

#### 〈分科会発表者〉

- 第4分科会「人権・同和学習」

滝野南小学校

#### 宮田智子教諭 第8分科会「住民啓発」

榮枝地区

寺本 健二さん  
藤原健太郎さん

### 兵庫県人権教育研究大会 中央大会

9月27、28日、南あわじ市で開催。市同教から

23名参加。

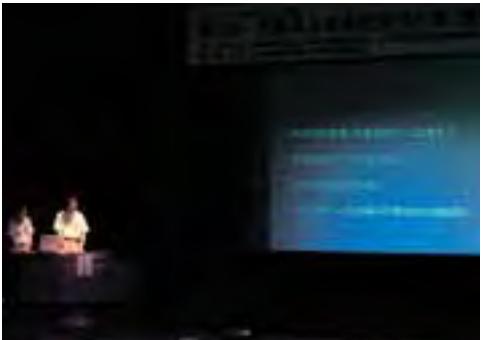
榮枝地区が第13分科会「地域社会と行政」で発表しました。

### 地区住民学習から 栄枝地区の取組

(東同教での発表から)

## 活動内容

### 三世代交流のまち づくりを目指して



#### 1 はじめに

##### ① 榎枝地区について

- 戸数約40戸、人口約180名

- 人口の流出入は少ない

- バレー・ボール大会等の行事参加の意識が高い

- ② 榎枝まちづくり協議会の発足

#### 【構成員 15名】

区長、副区長

老人会（正副会長）  
婦人会（正副会長）

子ども会（正副会長）  
消防団（分団長）

体育委員（男・女）  
社会教育推進委員

- 3 成果と課題
- 異なる年代が集まり、盛大に取り組め、より深い交流の機会が得られた。
  - みんなの笑顔が見られた。
  - さらに良いものを作りうという意識と、まちづくりを皆でしていくことをういう意識を持続させたい。



ふれあい講座（平成19年度）

#### H18年度の取組み

##### ふれあいまつり

- ・隣保対抗  
バレー・ボール
- ・子供会・老人会  
ふれあい行事
- ・人権ビデオ学習
- ・タイムカプセル  
(10年後の私に手紙)
- ・バーベキュー大会  
とんど焼き

#### H20年度の取組み

##### ふれあいまつり

- ・隣保対抗  
バレー・ボール
- ・子供会・老人会  
ふれあい行事
- ・人権ビデオ学習
- ・七夕かざり
- ・風船とばし
- ・バーベキュー大会  
ふれあい講座  
（検討中）
- ・シニア体験  
とんど焼き  
(予定)

#### H19年度の取組み

##### ふれあいまつり

- ・隣保対抗  
バレー・ボール
- ・子供会・老人会  
ふれあい行事
- ・人権ビデオ学習
- ・風船とばし
- ・バーベキュー大会  
ふれあい講座  
・シニア体験  
とんど焼き

## 新着ビデオ紹介

**大助 花子の  
男女どっちが得?**  
(26分)



男だから…、女だから…、そんな固定観念の垣根を取り払って、一人の人間として生き生き生きることのできる社会、それが男女共同参画社会です。

- 日々の暮らしの中で「変だな」「おかしいな」と感じたり、気づいたりすることから見つめ直してみましょう。たまに見過ごしていることの中に、性別を理由とした不合理な取扱いや、固定的な見方が潜んでいることがあります。
- 今、自分らしく輝いている人たちが登場します
- 一年間の育児休業を取り育児に専念する男性
  - トラック運転手として大活躍の女性
  - ベテラン看護師として信頼厚い男性

## 一受けつごう確かな実践・明るい職場づくり

「加東市企業人権教育協議会(企人協)」の活動

私たち企人協は、人権が尊重される明るいまちづくりの一翼を担って、人権啓発事業の実施や研修を積み重ねてまいりました。

家庭・学校・職場での学習活動により、人権・同和問題への理解が深まり人権意識の高揚が図られてきました。特に、職場(企業)においては、企業成果の向上に欠かせない思いやりの人間関係づくり、セクハラ、パワハラ防止に力点を置いた研修を積み上げてきたところです。

互いの人権を尊重するための研修は、企業の社会的責任を果たす上で欠くことのできないものです。

私たち『企人協』に参加する市内の商店・企業は、

社ブロック(54社)  
滝野ブロック(31社)  
東条ブロック(30社)

(3)企業間、企業と企人協事務局との密なる連携を図り、推進体制の確立と研修内容の充実に努める。

②人権・同和教育にかかる社員研修を開催し、豊かな人権感覚を培い、具体的な実践に努める。

・考え方、人の見方を少し変わった視点から見ていくことが大切だと思った。  
・あいさつの大きさ、奉仕の心、喜びの心をもつて勤める大きさを学んだ。  
手品も面白かった。



### ■年間事業計画

- ・総会(5月)
- ・社員研修(年5回)
- ・理事会(年3回)

### 第3回研修会(9月)

「新ちゃんの  
お笑い人権高座」

落語家 露の新治さん

### ■今後の予定

- ①「身近な人権問題」とき 10月10日
- ところ 滝野図書館  
(三木市立小学校長)

### 第1回研修会(5月)

「ワーク・ライフ・バランス」

講師 宮永さん・岸本さん

の合計115社に及び、企業規模(従業員数)に応じて年会費を納入して自主的な事業展開をしています。

### 第2回研修会(7月)

「人権の花を咲かそう」

講師 田中種男さん

- ②「演題未定」とき 2月13日

ところ 未定

- 講師 玉岡かおるさん  
(作家・コメンテーター)

- ③「人権ゆかりの地視察」とき 11月13日

- ところ 未定
- と き 11月13日
- 徳島県鳴門市
- ・板東俘虜収容所跡
- ・賀川豊彦記念館
- ・映画「バルトの楽園」
- のロケ村

- お誘いとお願い
- 未加入の企業・商店の皆さま、ぜひ、加東市『企人協』に加入ください。
- 加入申込は人権教育課内企人協事務局

- ・あいさつの大きさ、奉仕の心、喜びの心をもつて勤める大きさを学んだ。  
手品も面白かった。
- ・考え方、人の見方を少し変わった視点から見ていくことが大切だと思った。  
・あいさつの大きさ、奉仕の心、喜びの心をもつて勤める大きさを学んだ。  
手品も面白かった。
- ・自信のない生き方を、缶詰のパイナップルスタイルの第何段かを気にしき芯(主体性)のなさ、個性の削ぎ落として表現され、分かりやすかつた。  
・笑いが大切ですね。
- ・差別は、「自己差別から被差別、加差別を発生させる」という話が印象深かった。

## 男女共同参画社会の実現をめざして

加東市では、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にいかわりなく、その個性と能力を十分に發揮することができる男女共同参画社会の実現のため「加東市男女共同参画プラン」の策定をすすめています。

第2回策定委員会	
(3月17日)	
<p>◆報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度加東市男女共同参画事業実施状況</li> </ul>	<p>◆協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加東市の現状について</li> <li>・男女共同参画プランの方</li> <li>・男女共同参画プランの方</li> <li>・男女共同参画プランの方</li> </ul>

第3回策定委員会	
(4月30日)	
<p>◆協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画に関するアンケート調査票(案)について</li> <li>・男女共同参画プランの方</li> <li>・男女共同参画プランの方</li> <li>・男女共同参画プランの方</li> </ul>	<p>◆協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加東市の現状について</li> <li>・男女共同参画プランの方</li> <li>・男女共同参画プランの方</li> <li>・男女共同参画プランの方</li> </ul>

策定委員会と庁内プロジェクト会議の合同研修会を開催しました。	
(7月2日)	
<p>尼崎市立女性センター所長須田和さんの講演とワークショップを行いました。</p> <p>講演の中で、ワーク・ライフ・バランス(＝仕事と生活の調和)の取組が進められている。それは、女性だけでなく男性も単身の方も、ワークの部分とライフという私生活の部分をいかに居心地が良いように調和させていくかということである。これらの男女共同参画社会づくりの一番の実践的な取組である。</p> <p>また、近年問題となつてたそれぞれの役割を明確にした具体的な施策を示す方がよいのではなかろう。</p> <p>・地域と仕事の両立。子育て支援。</p> <p>・地域を変えるには家庭から。職場で学習し、家庭へ還元する。</p>	<p>ワークショップでは、「男女共同参画のあなたのキー</p> <p>ワード」をテーマに、活発な意見が交わされました。</p> <p>その他にも男女共同参画のまちづくりを進めるためのさまざまな視点について、お話をされました。</p> <p>【キーワードの一例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対等なコミュニケーション</li> </ul>



暴力を容認する社会構造がある。

その他にも男女共同参画のまちづくりを進めるためのさまざまな視点について、お話をされました。

会議録はHPで公開しています。加東市ホームページの各課のお知らせから人権教育課のページを開いてください。

【HPアドレス】  
<http://www.city.kato.lg.jp/>

また、委員会は公開されています。関心のある方はぜひ傍聴にお越しください。

6月には「人権と男女共同参画に関するアンケート調査」を実施しました。ご協力ありがとうございます。調査の結果は、次号でお知らせします。

加東市の現状を中心に協議が進められ、次のような意見が出されました。

- ・封建的な意識が依然としてある。
- ・地域の役員、管理職などに女性が少ない。女性の議員がないこと
- ・親の参加が増えている。
- ・参観日などの行事に父
- ・男女共同参画をすすめるには、男女の違いを認め合う。そこから話し合ったり、認め合つたりすることが大事だと感じている。

その一方で、平日の行事は仕事を休めないの困るという話も聞く。働き方がネットになつてきている。

地域の実態把握を十分にすることが必要。

会議録はHPで公開しています。加東市ホームページの各課のお知らせから人権教育課のページを開いてください。

【HPアドレス】  
<http://www.city.kato.lg.jp/>

また、委員会は公開されています。関心のある方はぜひ傍聴にお越しください。

会議録はHPで公開しています。加東市ホームページの各課のお知らせから人権教育課のページを開いてください。

【HPアドレス】  
<http://www.city.kato.lg.jp/>

また、委員会は公開されています。関心のある方はぜひ傍聴にお越しください。

# 加東市人権尊重のまちづくり 基本計画を策定します

21世紀は「人権の世紀」と言われています。市民一人ひとりが安心して幸せに暮らすためには、何よりもすべての人の人権が尊重されなければなりません。

笑顔で「あいさつ」や「感謝のことば」が飛び交っている  
お互いの「じんけん」を尊重する

社会のルールが自然に守られている・・・  
そんな「加東市」をつくつていきます

この人権尊重のまちづくり基本計画は21年度完成をめざして策定します。

策定にあたっては、市民参加のもと学識経験者や市民からなる「加東市人権尊重のまちづくり基本計画策定委員会」、また、行政からは、職員で構成する「内プロジェクトチーム」を立ち上げ、市民と行政の協働のもと計画を策定します。

## ■ 計画の策定方針について

- ・委員会の要点記録を公開します。
- ・委員会の運営について
- ・委員6名で構成する起草委員会を設置。
- ・委員会は原則公開とします。

次回委員会の開催は11月頃を予定しています。委員会は公開で行われています。関心のある方は、ぜひ傍聴にお越しください。  
開催日はホームページでお知らせします。

## ■ 第1回策定委員会の開催 (4月25日)

市長から18名の委員に委嘱状が交付されました。

委員長 堀井洋一さん

副委員長 尾城文雄さん

を選出しました。



## ■ 第1回起草委員会の開催 (5月1日)

委員長、副委員長を含む6名で構成。

## ■ 協議内容

- ・人権のアンケート調査について検討
- ・調査項目の検討
- ・表現の検討
- ・ふりがな、注釈の検討

これは人権問題も同様である。とりわけ同和問題については、長年の学習活動により人々の偏見は弱くなってきているが、今なお各地で差別事象が起きていることも事実である。  
「偏見」をなくすには、他人や物事を「色眼鏡」で見ないであらゆる生涯学習の場や機会に正しく理解する学習を根気よく積み重ねるしかない。

(市同教会长 堀井洋一)

## 「偏見」

・計画期間は  
2010年～2019  
年の10年間

## ■ 市民アンケート調査の実施について

- ・市内に居住する20歳以上の方を無作為で約2000人選び、調査票を送付。
- ・市内に居住する20歳以上の方を無作為で約2000人選び、調査票を送付。

今「食の安全」がマスコミを賑わしている。「毒入りギョウザ」をはじめ「汚染米」、有害物質メラミン入りの「お菓子」など次々と明るみに出て、我々の不安感を増長させている。主な輸入先は中国である。こう続くと、頭の中で「中国の食料品は危ない」というイメージが作られる。たとえ一部であっても、全部危ないのでと疑心暗鬼になる。そう意識することが「偏見」であり、それを生み出すしくみである。

桂中では、  
学年によつて  
は半分に届く  
ぐらいの数で  
両親が揃つて  
いない。約半  
数がムラの子。  
部落は人を  
排除しない。  
人から足を踏  
まれる痛みを  
知つてゐるた  
め。相互扶助  
の精神が豊か  
で、助け合い  
の文化がある  
ため、住みや  
すいムラの中  
には在日韓國  
朝鮮人の家庭  
もたくさんあ  
る。

敗戦の時、軍隊はいち早く逃  
げながら、架かっていた橋や鉄  
道を破壊していった。国策とし  
て満州に送られた日本の農家の  
人々は、置き去りにされ右往左  
往しながら逃げていった。せめ  
て、わが子だけは命を助けたい  
と中国人の家庭に託し、あるいは、  
はぐれた中で残留孤児、残  
留夫人と言われる方がたくさん

## 「心あったかいフォーラム」講演会から（8月10日） 「ここに生まれてきてよかつた」 ～桂中の集団づくりがめざしてきたもの～

講師 土田光子さん

桂中では、  
学年によつて  
は半分に届く  
ぐらいの数で  
両親が揃つて  
いない。約半  
数がムラの子。  
部落は人を  
排除しない。  
人から足を踏  
まれる痛みを  
知つてゐるた  
め。相互扶助  
の精神が豊か  
で、助け合い  
の文化がある  
ため、住みや  
すいムラの中  
には在日韓國  
朝鮮人の家庭  
もたくさんあ  
る。

全体を見ると、約半数がムラ  
の子、一割弱が在日韓国人の子、  
一割前後の中国人の子、また、  
全く日本語の話せない子もいる。  
1/3以上は両親が揃つておらず、  
2/3に届こうというところで、  
経済的に非常に困つてゐる。障  
害を持つた子もいるし、日本社  
会の中での教育の課題が1校の  
中に全面的に集中してゐる、極  
めてやりがいのある中学校であ  
つた。

具体的に差別を受ける云々で  
はなく、漠然と子どもたちは退  
学、停学の制度がない中学校時  
代に、花の青春時代をやりまく  
つてあはれまくつて、そして丸

裸のまま差別社会に掘り出さ  
れるんやという絶望感、言うに  
言えない不安の中ですごしてい  
る。30年間のうちに3学年が揃  
つて落ち着いて学習をしたこと  
がない。私に言わせると極めて  
健康な学校である。一番こわい  
のは問題が潜在化して陰湿にな  
つて見えにくくなることである。  
桂中はそんな心配は全くなない。



(抜粋)

・「優しさの貯金」。つい  
つい借金になりそうな言  
葉を投げてしまうが、こ  
の言葉の借金が30年口一  
になることを聞き、こ  
れからは貯金となる言葉  
をかけるようにしたい。  
・人とながる距離、過去  
を見るか未来を見るかの

・たくさんの愛、たくさん  
の自信をもらつた。教師  
になりたいと思い、山口  
から兵庫に来て、毎日不  
安や心配でいっぱいだつ  
た。しかし、先生の話を  
聴き、絶対教師になろう！  
仲島先生みたいな教師に  
なるようと強く思つた。



### 《参加者の声》

・出会いとつながり、普段  
間抱きしめて「あなたが  
いてよかつた」と伝えて  
いきたい。

・優しくあることは、厳し  
く自らを律することが士  
台にあると実感した。10  
秒の愛は大人にこそ必要  
であると感じた。

### 「あーよかつたあなたがいて ～優しさという温かい貯金～」

「子どもの人権と健全育成を考える  
講演会」から（7月12日）

講師 仲島正教さん

見たくないと言うほど課題がふ  
き出してゐた。くだらない授業  
をすると出て行くし、心ない發  
言をする教師は殴られる。教師  
としての力量をつけたいと思う  
ならぜひ来てほしい学校である。  
それでも学校が潰れることなく  
続いているのは子どもが熱いか  
ら。いわゆるヤンキーがいつば  
いいる学校であるが、魂が熱い。  
ひとたび仲間が傷つけられるよ  
うなことがあれば、どうしたん  
や、どういうことやねんときち  
つとけじめを付けられるところ  
を持つてゐる。この中学に来て  
この熱氣に当てられて、この子  
どもたちに私は間違ひなく教師  
だと認めてもらえるような教師  
になりたいと。そう思わせてく  
れるような熱と光に溢れた独特  
のオーラがある学校であつた。  
（抜粋）

・2歳と5歳の子どもを持  
つ母親として、すごく役  
に立つた。親としてまだ  
まだ未熟であるが、講演  
でもらつた元気と温かい  
貯金を大切に子育てして  
いきたいと思う。めざす  
は肝つ玉母さん。

・優しくあることは、厳し  
く自らを律することが士  
台にあると実感した。10  
秒の愛は大人にこそ必要  
であると感じた。

・たくさんの愛、たくさん  
の自信をもらつた。教師  
になりたいと思い、山口  
から兵庫に来て、毎日不  
安や心配でいっぱいだつ  
た。しかし、先生の話を  
聴き、絶対教師になろう！  
仲島先生みたいな教師に  
なるようと強く思つた。

# 優秀作品

児童生徒の皆さんを対象に、「人権文化をすすめる市民運動」ポスター・標語の募集を行ったところ、ポスター90点、標語137点の応募があり、選考の結果、以下の優秀作品が決まりました。  
(敬称略)

## ポスターの部



社小学校5年 田中咲希



鶴川小学校2年 永井楓佳



滝野東小学校5年 谷口清香



福田小学校5年 山口由真



東条東小学校5年 都倉彩葉



滝野南小学校5年 西田真美



東条中学校3年 藤井希子



東条西小学校5年 藤原彩

「人権文化をすすめる市民運動」

# ポスター・標語

## 標語の部

世界へと 幸せの種 飛ばそうよ	社小学校 6年 中村綾花
ちょっとした 言葉のかけ合い 助け合い	福田小学校 4年 中嶋真子
その言葉 言われた人はどう思う	米田小学校 6年 河村拡樹
見つけよう たくさんみんなの いいところ	三草小学校 6年 藤浦綾華
「だいじょうぶ?」そのひと声で ほっこりと	鴨川小学校 6年 吉田安里紗
ありがとう はずかしいけど いい言葉	滝野東小学校 6年 小西敦司
損はない 優しい心 持つていて	滝野南小学校 6年 野中智行
いじめなし みんなの「命」 大切に 東条東小学校 6年 岸本美咲	東条西小学校 4年 松本雄大
やさしさは 心に花を咲かせるね	東条中学校 3年 渡辺岳
空メール してもされても むなしいね	社中学校 2年 西本香奈
引かないで きもいという名の 差別の線	東条中学校 3年 渡辺岳
笑顔から始まる 明るい街づくり	東条中学校 3年 渡辺岳



いけないなと思いました。

ぼくは、今まで、地域の人があいさつをしても、あいさつせずに、下を向いて通りすぎていました。だけど、このおっちゃんが帰るときに、「さようなら。」

とか、

「気つけて、帰れよ。」

などと、あいさつをしてきてくれました。ぼくも思い切って、

「さようなら。」

と言ってみました。おっちゃんの顔を見てみると、笑顔でした。その笑顔を見てから、ぼくは、地域の人にあいさつをするようになりました。そして、あいさつを返してもらうと、とてもいい気持ちになって、元気がでてくることもわかりました。

おっちゃんは、いつも笑顔です。おこった顔や悲しい顔などを見たことがありません。

ぼくが、いやな気持ちの時も、このおっちゃんの顔を見ると、心が明るくなってきます。

これからは、ぼくも、このおっちゃんのようにだれにでも笑顔であいさつできるようになりたいと思います。



## 「あいさつから変わること」

鴨川小学校  
6年 森本 真美さん



「きん張するな～。」

と妹っていました。

わたしは、西脇小学校から鴨川小学校に転校してきました。

鴨川小学校は山で囲まれていて、西脇のように公園もなく、友達の家も近くにありません。同級生も約100人から5人だけになりました。西脇小学校にいたときより、環境が大きく変わるので、新しい友達ができるかなと、とてもドキドキしていました。

始業式の前に自己紹介をしました。見慣れていない顔にきん張しながら、話しました。話し

ているうちに、不安が出てきました。その不安を持ったまま始業式が始まりました。その中の、校歌斉唱で、校歌がわからないからどうすればいいのだろうと、また不安になりました。その時、ある女の子が、

「あれを見て歌えばいいよ。」

と言ってくれました。突然だったので、恥ずかしくなりました。しばらくは、その子を見ていきました。その子の一言のおかげで、少し校歌が歌えました。

わたしは、初日から話しかけられるとは、思ってなかつたので、ドキドキしました。でも、この時、これからの学校生活への不安が軽くなりました。

その後、教室に入ると、始業式のときに声をかけてくれた女の子がいました。すごく安心しました。

その子の一言で、わたしの不安が消えました。その子は、机とイスの高さを変えるのにも、一緒に手伝ってくれました。また、助けられてうれしかったです。

次の日、朝学校へ行くときに地域の人にあいさつをしました。勇気を出して、

「おはようございます。」

とあいさつをしました。すると、

「おはよう。いってらっしゃい。」

と言ってくださいました。初めて会う人なのに、返事をしてもらって、すごくいい気持ちでした。始業式と同じであいさつの一声でこれからの生活への不安がなくなりました。

この時、あいさつや言葉づかいなどで、気持ちが温かくなることを学びました。でも、それは、言葉だけのあいさつやていねい語を使うということではありません。あいさつも言葉使いも心を伝えるものだということも、改めて学びました。

今、わたしは、出会った人には、必ずあいさつをしています。遠くにいる人には、手を振ったり頭を下げてあいさつをしています。一人でいる子には、自分から声をかけるようにしています。そうすることで、相手も自分も気持ち良くなります。

これからも、一声かけることでその日のうれしさを忘れず、たくさん的人にあいさつをして、心を伝えようと思います。

# 子どもの人権と健全育成を考える講演会での発表作文

## 「ありがとう」でつながろう



三草小学校  
6年 上月 翔太さん

ぼくのこれから目標は、素直に「ありがとう」と言える人になることです。ぼくは、人に何かをしてもらったとき、いつも「どうも」としか言わなかつた。それは今までぼくが「ありがとう」の大切さを分かっていなかつたからだ。

今年は、6年生。はっきり言って担任の先生へのイメージは、ただ「厳しい」という感じで、あまりよくなかった。でもそのイメージはすぐ変わつた。学級通信の題名は「ありがとう」だつた。最初は、どうしてこんな題名なんだろうと不思議に思つた。でもそれは、まもなく、先生が「ありがとう」という言葉を大切にしていたからだということがわかつた。ぼくがそう思つたのは次のようなことがあつたからだ。

ぼくたちの学校では、朝のスピーチをしてゐる。そのスピーチで、ぼくの番が来た。ぼくは、「ざりがにはかにの仲間か、えびの仲間か」という内容でスピーチをした。ぼくがスピーチをした後、みんながよく意見や感想を言ってくれたので、うれしかつた。そして、ぼくのスピーチが終わつたとき、先生はこう言つてくれた。「楽しい話題を提供してくれてありがとう。」ぼくは、すぐくうれしかつた。ぼくもこのときから「ありがとう」と言えるようにならうと思つた。

それから、友だちに何回も「ありがとう」と言えるチャンスはあつた。でも、ぼくはなかなか言えなかつた。たぶん、それはぼくが、まだ心から言おうとしていなかつたからだと思う。心から「ありがとう」と思つたら、自然に言葉が出ると思う。それからまもなく、また「ありがとう」と言えるチャンスがきた。ぼくが筆箱を落としてしまつたとき、同じ班の子がいっしょに拾うのを手伝つてくれたのだ。そのとき、ぼくは、やつと「ありがとう」と言えた。でも、そのときのぼくの気持ちは何かすっきりとしな

かった。「ありがとう」と言えたはずなのに、どうしてすっきりすることができなかつたのか。それは、ぼくが「ありがとう」と言ったとき、その子が「うん」と少し不満そうに答えたからだ。それは、ぼくの思い過ごしかもしれないのだが……。

「ありがとう」は、人とつながることのできる言葉だ。だからこそ、ぼくは、「ありがとう」と言われたときには、「伝わつたよ」という気持ちを言葉や表情で返していきたい。そのためには、ぼくは、これからもどんどん「ありがとう」という言葉を使っていく。そして、人から「ありがとう」と言ってもらったときには、「うん。いいよ」という気持ちを相手に伝えられる人になっていきたい。



## 「いつもありがとう」



滝野東小学校  
6年 河村 順馬さん

滝見橋をわたつた所にあるクリーニング屋さんの曲がり角に、いつも立つてくれているおっちゃんがいます。森けいた君のおじいちゃんです。おっちゃんは、学校があるときは、雨の日も雪の日も毎日立つておられて、ぼくたちの安全を見守つてくださつています。登校する時だけでなく、下校する時も、横断歩道の所で待つてくれています。ぼくたちが道を横断できなくて困つて困つて車を止めてぼくたちを優先的に、そして安全に、わたらせてくれます。一せい下校の時には、一年生から六年生まで、たくさん的人数が横断歩道をわたります。その時は、一年生など低学年に、車が来ていなかつたら、「じゃんけんほい。」と、じゃんけんをして楽しませたり、「学校しんどいけど、がんばれよ。」と、はげましたりしてくれます。そんな様子を見て、おっちゃんに、ぼくたちは感謝しないと



# 人権トピックス

12月4日から10日までの1週間は人権週間です



## ～生きがいと幸せを築きあう人間尊重のまちに～

加東市は、すべての住民がお互いの人権を尊重し合い、部落差別をはじめ、あらゆる差別のない「生きがいと幸せを築きあう人間尊重のまち」の実現を目指しています。

いろんな催しを通じ、参加者の相互交流を図り、人権尊重に根ざしたものを見方や考え方を身につけ実践していきましょう。

## ●●●人権と福祉のまちづくりフェスティバル

- ☆ 日 時 平成20年12月7日(日) 午後1時20分から
- ☆ 場 所 滝野文化会館 大ホール
- ☆ 内 容 テーマ「盲導犬グレースとともに夢見る力を信じて」  
～お話とピアノの弾き語り～  
講師 前川裕美さん



花鉢  
プレゼント

## ●●●●●人権啓発展のご案内●●●●●

期 間	場 所	展 示 物
11月1日～11月3日	社中央体育館	保育園児の共同作品展
11月5日～11月18日	社公民館ギャラリー	メッセージ展
11月5日～11月10日	Bio多目的ホール	保育園児の共同作品展

人権風船  
プレゼント  
11月2日

## ●●●●●人権を考える市民のつどい●●●●●

- ☆ 日 時 平成21年2月7日(土) 午後1時20分から
- ☆ 場 所 社福祉センター 大ホール
- ☆ 内 容 ◎ 人権弁論「人権週間にちなんで」  
中学生による発表  
◎ 住民学習実践報告

花鉢  
プレゼント

## 特設人権相談所開設案内

人権問題でお困りの方は、お気軽にご相談ください。秘密は厳守されます。

- 相談日 12月5日(金) 10時から15時
- 場 所 社福祉センター・はびねす滝野・東条公民館

## 街頭啓発活動

- ☆ 日 時 平成20年12月上旬  
午後5時から
- ☆ 場 所 やしろショッピングパークBio
- ☆ 内 容 ミニカレンダー等を配布します

## 編集後記

今年の夏は厳しい暑さでしたね。いつまで続くのかと心配しましたが、いつの間にか朝夕は過ごしやすくなりました。赤とんぼが飛ぶのを見かけるようになり、秋の気配を感じられます。空を見上げると秋の雲が浮かんでいます。そういえば、ゆっくり空を見上げていませんでした。季節の移り変わりを感じられる心のゆとりを持ちたいものです。

発行

加東市人権・同和教育研究協議会

〒679-0292  
兵庫県加東市下滝野1-269-2

TEL 0795-48-3598

FAX 0795-48-3705